



民児協 ちょうし

第37号

令和4年9月30日

発行 銚子市民生委員児童委員協議会

〒288-0047 銚子市若宮町4番地の8
銚子市社会福祉協議会内



ミソハギ（稗萩）と銚電

平成6年に制度が創設されてから既に4半世紀が過ぎました。創設当初の目的は、児童福祉関係機関と区域担当の児童委員をつなぐ窓口となり、児童委員活動の活性化を図るというものでした。ところが、残念なことに当初は認知度が低く、活動も制限されており、期待に応えることは出来ませんでした。

しかし、年々深刻になる児童虐待への対応や子育て支援等が必要になり、自覚と責任感を持って活動することで周囲からも認められるようになってきました。

現在、主任児童委員に期待されるものは①子育て支援活動②児童健全育成活動③個別支援活動などがあります。さらに学校や児童家庭支援センター等の関係機関と連携を図り、子供が安心して暮らせる地域づくりが求められています。

県内の一部地域では、主任児童委員が要保護児童対策地域協議会に参加し、個別支援活動に東奔西走している地域があります。

幸い、銚子市では、子育て世代包括支援センター「すくサポ」を始め、様々な相談窓口や支援を提供する体制が構築されています。

近年、昔ながらのご近所付き合いが希薄化の傾向にあります。また、進む少子化が課題です。しかしながら一人ひとりの子供と向き合うことの出来る環境に向かっているのは間違いないと思います。

私たちは、子供たちがのびのびと過ごせるように見守りながら、銚子市の良い伝統文化とも言える「地域のつながり」を大切に、近所の「うるやいおじさん」や「お節介なおばさん」として、子供達と関わっていきたくと思っています。



『主任児童委員の役割』

主任児童委員 高 安 詳 庫

本城地区活動紹介

心も身体も元気!!

長塚町東青年館では、「さくら会」の皆さんが、元気に運動しています。ブラチナ体操に加えて、ラジオ体操は第2まで行っています。会長さんの声かけで、次の動作にスムーズに入れます。けっこうな運動量で汗を流しています。



歌いながらの手・足の運動もされていて、声を出すことも元気の源のようです。



6月には、西部包括支援センター長の峯岸氏を招き「目指せ!! 百歳長寿」を合言葉に脳と身体を使って、様々な運動にチャレンジしました。



松本町青年館では、「松寿会」の皆さんがブラチナ体操や早口言葉の練習、手・指の運動など脳トレに励んでいます。会長さんの足が挙がることにはびっくりです。皆さんで和気藹々と談笑する時間も大切だと話されていました。

また、地域ぐるみで防災・減災についても学んでいこうと思います。

小・中学校運動場に元気いっぱいの姿

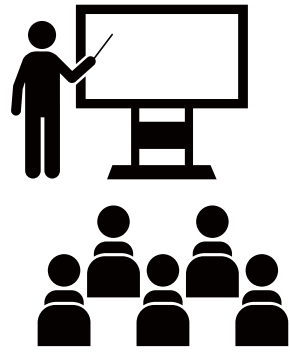
コロナ感染が少なくなった5月～6月にかけ銚子市内の小・中学校では3年ぶりにスポーツ集会や体育祭が開催されました。

生徒達は、思い切り走ったり、真剣に団体競技に参加したりしていました。また、友達や保護者の応援の声や笑顔が広がり、久しぶりに親子共々楽しんでいました。早くコロナ感染の心配が無くなることを願うばかりです。



令和4年度事業（上半期）

月 日	事 業 内 容	場 所
4月6日 13日 27日	監事監査 主任児童委員部会 理事会	勤労コミュニティセンター2階ホール 勤労コミュニティセンター2階ホール 勤労コミュニティセンター2階ホール
5月	定期総会（書面）	
6月 17日 28日	市町村民児協事務担当者会議（ZOOM） 主任児童委員部会 理事会	銚子市役所附属棟第2会議室 勤労コミュニティセンター2階ホール
8月31日	主任児童委員部会（中止） 理事会	勤労コミュニティセンター2階ホール
9月6日 30日	第20回千葉県民生委員児童委員大会 広報紙「民児協ちょうし 第37号」発行	千葉市



表彰

次の方々が、多年にわたる社会福祉活動の功績により受賞の榮譽に輝かれました。心よりお祝い申し上げます。（敬称略・順不同）

◆第20回千葉県民生委員児童委員大会

千葉県民生委員児童委員協議会会長表彰

〔永年勤続表彰〕

木村 進一	（高神地区）	石毛 季子	（飯沼地区）
細川 いづみ	（高神地区）	山本 惠津子	（双葉地区）
鈴木 早苗	（高神地区）	山口 文夫	（春日地区）
常世田 和男	（清水地区）	霞 由起子	（春日地区）
宮内 孝男	（清水地区）	高橋 たまき	（春日地区）
鈴木 惇夫	（清水地区）	名雪 かおり	（春日地区）
坂尾 豊	（清水地区）	片井 久美子	（春日地区）
柴崎 美代子	（明神地区）	内匠 孝治	（海上地区）
鈴木 敏道	（飯沼地区）	櫻井 義和	（海上地区）
力 光子	（飯沼地区）	鈴木 あかね	（海上地区）
神谷 光太郎	（飯沼地区）	竹内 忠洋	（豊里地区）
川和田 和代	（飯沼地区）	岩井 みさ子	（豊里地区）
田中 幹子	（飯沼地区）		

新任委員ご紹介

（令和元年12月1日付け名簿に載っていない方）

◆令和4年8月1日付

萩原 義光（飯沼地区）

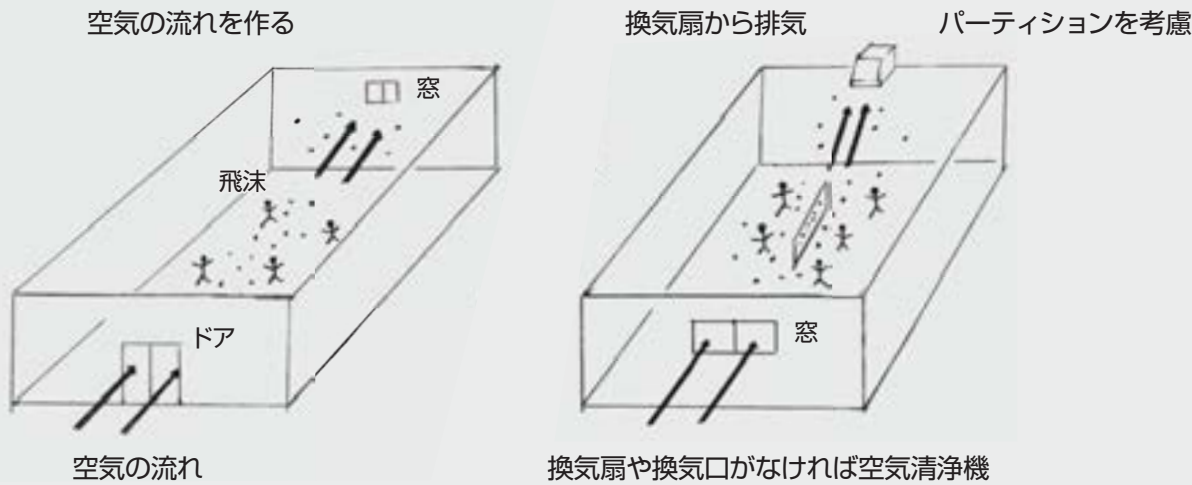


コロナと熱中症対策

人が呼吸をすると小さな粒子、エアロゾル（飛沫核）が出て、空気中を漂い感染につながる恐れがある。冷房を使ってもクラスターの発生した場所では十分に換気をしていないことが原因とみられている。

窓も換気扇もない場合は空気清浄機を使い、熱中症にならないように無理なく窓を小さく開けて換気を心がけましょう。

窓やドアは少し開け、扇風機があれば外に向ける



参考：朝日新聞

コラム ～夏の思い出～

ラジオ体操から帰ってくると、台所から、しし唐を焼く匂いがした。暑い昼間は、縁側で三角に切ったスイカやとうもろこしにかぶりついた。夜には、涼しい風に乗って、蚊取り線香の匂いがした。
この季節になると、エアコンいらずの昔、朝ごはんの支度をする父を思い出す。



築70年の我が家のねむの花がブルーの瓦とベージュの外壁をバックに今年も咲いた。30年以上前に、道路工事で外壁に黒いコーラタールがかかった。実直そうな責任者と思われる方が、「すみません、きれいにするから」と謝罪に見えた。けれど…。ピンクに咲いたねむの花はその黒いシミを年々薄れさせていくような気がする。



ネムノキ（合歓木、合歓の木、Albizia julibrissin）はマメ科ネムノキ亜科の落葉高木。別名、ネム、ネブ。夜になると小葉が閉じて垂れ下がる就眠運動を行うことが知られている。
出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

編集後記

・コロナが変異を続けながらはや3年目。相変わらず今年も七夕を飾りました。短冊には皆思い思いの願い事が書かれていて思春期を迎えた孫たちのフツと笑ってしまうのも…そんなに沢山の願い事は無理です!! だってそよぐ笹の葉に言われたような気がしました。（K・M）

・暑い毎日が続いています。コロナ禍もなかなか落ち着かずマスクをしながら汗を拭いています。以前の様な日常がなくなって穏やかで自由だったのか…普通の生活のありがたさに気付き人との関わり大切さを感じます。早く戻りたいですね。（M・T）

・お風呂ですべり、動けなくなったという方の投稿が新聞にありました。その時、まず水を抜いたので、溺れる心配がなくなり、浴槽で一晚、不自由な体勢のまま過ごしたそうです。翌朝、心配した隣人達に助けられたのが役立った。隣人に鍵を預けておいたのが役に立った。普段からの備えが幸いしたのですが、とっさに「柱を抜く」というその人の賢さが生命を守ったということだと思ふ。（私はきつと考えつかない!）（K・T）

◆編集委員

高瀬 博史
植松 ふみ子
片井 久美子
伊東 珠紀
増田 啓子
鶴岡 麻衣子

高田 和子
若海 喜美子
小池 美智子
高品 和子
鈴木 あかね
宮内 忠雄
鈴木 清久